

宮城第一高改築設計公募型プロポーザル審査講評

【第2段階審査の経過】

第1段階審査を通過した5社によるプレゼンテーション（ヒアリング）の後、審査を行った。まず、各社の技術提案書の表現等が実施要項に沿ったものかどうかの確認を行った。いずれも要項に抵触するものではないことを確認し審査を進めることを決めた。

各委員による評価に入る前に、各社の技術提案書の内容についてあらためて順に確認した後、評価に移った。評価は記名とし、あらかじめ設定された評価項目ごとに5段階の評価点数を記入、全員が記入後、事務局で回収、各項目の配点に応じた配分と集計を行った。第1段階での評価点（満点30点）はそのまま持ち越し、第2段階（技術提案書・ヒアリング）の評価点（満点70点）とあわせて100点満点での総計点をまとめた。また、参考資料として各委員による事務所別の評価点も示された。

その結果、A社が93.6点、B社が84.9点、C社が76.2点、D社が72.3点、E社が67.6点となった。委員別では、全員がA社に最高評価点を付けた。

以上の結果を踏まえて、あらためて各社の提案を振り返り議論を行った。議論の結果、A社が評価点2位のB社に約10点の差をつけての最高点であること、委員全員がA社に最高点を付していたことから、審査結果の評価点にもとづいて選定することの妥当性を確認した。最終的に、全員一致でA社を設計候補者として、またB社の評価点も3位と大きな差があることから、次点候補者としての妥当性を確認して、選定することとした。

今回、2段階評価（プレゼンテーション・ヒアリング）に臨んだ各社の提案は、いずれも、既存校舎の状況や宮城一高の歴史や伝統、教育内容、周辺地域の環境などに真摯に向き合った質の高い提案だった。最終的には、建物階数、体育館の配置、既存校舎のシンボルでもある中庭の扱い、既存校舎への連絡と距離などでの提案の違いが、評価の差異につながった。西側の中島丁公園を意識した東西の軸線を意識した案も複数あったが、西側道路の状況や、運営・管理面からの西門の活用には難しさもあり、それらの提案を実際に活かし切れるかどうかの判断もあった。現地での限られた条件下での建て替えプログラムでありながら、いずれも意欲的な提案をしてくださったことに対して判定委員一同、心から敬意を表し、また感謝申し上げたい。

【選定結果及び講評】

設計候補者：株式会社 山下設計東北支社（A社）

取組体制や業務の進め方、各課題に対する提案において、総合的な観点から最も優れた案と評価された。

既存の建物配置を強く意識し、また既存校舎との距離や、進学重視型単位制の最大の特徴

である選択教室や特別教室への移動の多さ・複雑さを念頭に置いた提案であった。コンパクトな計画を意識し、4階建を選択したことで、教室群、特別教室群、管理諸室群の配置に無理がなく、まとまりのある明快な計画が実現された。中庭は既存のものよりも小さくなるものの、南面のピロティ、北側の体育館との一体的利用を意識し、同校の象徴としての中庭を残しながらも体育館を活用した新たな展開も見据えた提案だった。現在の校舎の使われ方を丁寧に分析しながら、今後の計画につなげていく意欲も評価された。以上から、本事業の設計業務を委ねるに最もふさわしい設計者として選定した。

移動空間をいかに魅力的にするかが本提案のポイントでもある。今後の計画においても特に意識し、また配慮しながらよりよい学習環境を作り上げていっていただきたい。なお、仮設校舎への言及が少なかったが、生徒によっては3年間過ごすこととなる校舎である。仮設校舎の計画についても、十分な議論をして間違いのない計画されることを期待したい。

さいごに、学校関係者との丁寧な対話を通して計画を練り上げていっていただきたいという委員会としての希望を添えて最優秀選定の評とする。

次点：株式会社 関・空間設計（B社）

A社同様、4階建とした上での明快なゾーニングによる計画は高く評価された。中庭を整備し、エントランス、コミュニティモールと連続的につながる空間としての提案は魅力的だった。いっぽう、既存の中庭を意識して、ある程度の中庭の広さを確保した結果、また体育館を南北に置いた結果、校舎（普通教室）が現状より南側に位置することとなった。北側住宅地への配慮の結果でもあるが、結果として西側の住宅への影響を残す結果ともなり、また既存校舎への移動距離が長くなってしまいうなど課題も見えた。最終的には総合的にA社案に及ばず次点となった。

しかし、課題3に対する提案はA社を上回る最高点を獲得した。地域の歴史や特色を丁寧に考察し、新校舎の計画・意匠につなげていこうとする強い意欲は大変好感が持てるものであった。

平成30年10月31日

宮城第一高改築設計

公募型プロポーザル判定委員会

会長 石井 敏